

令和 7 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽					
所在地	生駒市小瀬町324番地2					
指定管理者名	特定医療法人仁悠会	指定期間	開始日	令和 3 年 4 月 1 日		
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 13 年 3 月 31 日		
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 5 年目			
設置目的	要介護者等について、日常生活の自立を支援し、又は居宅における生活への復帰を促進するため、介護保険法に規定する介護老人保健施設を設置する。					
主な実施事業等	介護保険法に規定する、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、介護保健施設サービス、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
入所・短期	人/日	90	93.3	100.0%	昨年とほぼ同じ
通所リハビリテーション	人/日	40	37.1	111.7%	イベントに工夫を凝らすなどした結果利用者が増加した
短時間通所リハビリテーション	人/日	6	4.2	79.2%	長時間利用を望む新規利用者が多くなった

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	602,320,000	694,392,086	685,940,495
指定管理料				
利用料金収入	C	602,000,000	687,789,823	670,570,382
自主事業収入		200,000	515,871	506,352
その他		120,000	6,602,263	14,863,761
支出計	B	571,300,000	635,439,493	635,634,843
指定事業費		571,300,000	635,439,493	635,634,843
うち人件費	D	358,000,000	394,556,069	384,463,532
うち再委託料	E	68,000,000	72,211,542	66,561,046
自主事業費				
事業収支	A-B	31,020,000	58,952,593	50,305,652
利用料金比率	C/A	99.9%	99.0%	97.8%
人件費比率	D/B	62.7%	62.1%	60.5%
再委託費比率	E/B	11.9%	11.4%	10.5%
補足説明（必要に応じて記入）				
自主事業収入として計上している収入は、自動販売機と訪問リハビリテーションの収入で、電気使用料と人件費は施設全体の支出に含まれます。また「その他」には補助金が含まれます				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	お世話になります。忙しいとは思いますが洗濯室（利用者さまの活動を掲示している）の写真がもう少し多いと嬉しいです。		洗濯物置き場での写真の掲示についてのご要望いただき、検討させていただきました。季節における行事イベントがあれば、都度の写真掲示はさせていただきますが、今後は行事以外でも、極力掲示させていただく機会を増やしていこうと考えています

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）

	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価 これまでと同様に、個々の利用者の状態に応じた、多職種によるチームケアを行い、昨年度より低下はしましたが、在宅復帰率42.6%と高い実績を残しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たし、地域の身近な存在として、高齢者福祉の発展に努めます。
	市の評価 本人の支援だけでなく家族支援も重点的に実施いただき、在宅復帰率は非常に高い実績を達成しており、超在宅強化型介護保険施設としての役割を果たしている。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価 これからも公設施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、多職種によって構成される入所・継続判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
	市の評価 入退所の判定等については判定委員会を設置し、利用者の公平性を確保いただくなど、公共性の高い施設として認識いただき取り組んでいただいている。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価 これからも年2回の利用者アンケートの実施や、ご意見箱の設置による利用者の意見の汲み取りにより、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。
	市の評価 利用者アンケートの実施と施設内1か所に意見箱を設置することで利用者の意見把握に努め、サービスに反映している。また、苦情等についても相談窓口を設置し、迅速丁寧に対応している。
	経費の縮減等の効果（効率性）
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価 館内の照明をLEDに切り替えるなどして、これからも経費の節減に努めてゆきます。
	市の評価 経費削減に合わせ、エネルギー消費に配慮いただき努力いただいているが、光熱費の高騰には苦慮されている。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価 通所の利用者数が増加したので、全体的な収入の増加につながった。
	市の評価 利用者ニーズをくみ取りサービスに反映することで効果を上げている。今後も利用者増に向けての取組を推進いただきたい。
	適正な施設の管理運営（適正性）
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価 これまで通り看護学校や介護の専門学校の実習生の受け入れを再開したり、優楽の活動内容をまとめた季刊誌を発行し配布するなどして、外部との接触を図ってサービスの質の向上等に取り組んでいます。
	市の評価 上記のとおり、積極的に外部との接触を図り、サービスの向上に取り組まれている。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価 これまでも通所リハビリテーションに高齢者向けのリハビリマシンを取り入れるなどして、介護予防のため新たなプログラムを導入し、多様な要望に応えるようにしました。また施設入所者の方の室料を、市民の方に限り、低減をさせていただいています。
	市の評価 新たな介護予防プログラムを導入するなど、多様な要望に応えサービス向上に努めている。また、市民に限定して施設入所者の方の室料を低減いただく等市民サービスに配慮いただいている。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価 引き続き新型コロナウイルスの感染防止や施設内でクラスターが発生した時の対策のため、感染対策委員会を中心に新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策（マニュアル作成等）を徹底します。また、事故対策委員会を設置し、事故防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
	市の評価

	上記のとおり、各種マニュアルを整備し、感染対策や事故発生防止、事故発生時の対応手順を明確にし、備えられている。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	
今後も、さらなる物価や人件費の上昇が予想され、厳しい事業運営となることが想定されます。次年度以降も、適切な管理・運営に取り組んでいくように努めます。	
市の評価	
光熱費の高騰など厳しい状況の中サービスを低下させることなく利用者ニーズに対応した運営を行っている。利用率の維持向上、事業収支の増加を目指し、今後も引き続き安定的に事業が継続できるよう努められたい。	

6 指定管理者の財務の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資産	10,869,330,451	11,011,129,005	11,697,614,765
流動資産	5,694,627,299	5,685,023,519	6,131,185,796
固定資産	5,174,703,152	5,326,105,486	5,566,428,969
負債	2,359,624,100	2,151,213,227	2,489,827,067
流動負債	424,902,459	373,830,204	368,864,368
固定負債	1,934,721,641	1,777,383,023	2,120,962,699
純資産	8,509,706,351	8,859,915,778	9,207,787,698
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	5,333,957,742	5,394,710,967	5,411,754,020
経常利益	551,261,529	454,957,003	529,093,622

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自己資本比率 純資産/資産×100	78.3%	80.5%	78.7%
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	27.7%	24.3%	27.0%
固定比率 固定資産/純資産×100	60.8%	60.1%	60.5%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1340.2%	1520.8%	1662.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	49.5%	50.1%	49.1%
総資産回転率 売上高/資産×100	49.1%	49.0%	46.3%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	5.1%	4.1%	4.5%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
世界情勢なども踏まえると、次年度以降も物価及び人件費の上昇等、運営を取り巻く環境は厳しいと想定されますが、利用者へのサービス提供の質の低下に繋がらないように安定した運営を目指していきます。
市の評価
光熱費等の高騰で介護サービスにとって厳しい状況が続いているが、利用者のニーズを反映した様々なサービス提供や在宅復帰に向けた手厚い支援を継続いただきたい。今後も超在宅強化型老健施設であることを強みとして、利用状況の向上、在宅復帰率の維持向上を目標に適切な運営に努めていただきたい。